



2020年秋期・日曜講座

14時～16時

コロナショック、私たちはキリストをどこに見出し、どう伝えたか？

コロナパンデミックとともに、教会も公開ミサの中止、ネット配信へと追いやられ、私たちは為すすべもなく自粛生活を送り、鎮静を見守ることしかできませんでした。しかし、イエス・キリストは時代の規範を越え、病む人や弱者に寄り添い癒されたことを思う時、現代を生きる私たちは祈りや霊的繋がりの中かでキリストを見出し、一歩踏み出して苦しむ人々に伝えることができたのでしょうか？

『恐れることはない。ただ信じなさい』（マルコ 5:36）イエス・キリストの言葉を受け止め、どんな困難の時でも、私たちを支え、動かすキリストの姿とそのメッセージを改めて思い起こし、一緒に考えてみましょう。

9月20日 「もし、キリストが
コロナウイルスが蔓延する社会に生きていたら？」

森 一弘
(真生会館理事長)

10月25日 「メディアから見たコロナ禍と教会の動向」

松谷 信司
(キリスト新聞社編集長)

11月29日 「この方の服にでも触れれば、癒していただける」(マルコ5:28)
—触れ合うイエスと3密の西方教会—

レンボ・アンドレア
(ミラノ外国宣教会)

・希望日程 (✓をつけてください)
 9月20日 10月25日 11月29日

・お名前 (ふりがな)

・TEL _____

・メール _____

★コロナ対応につき、必ず事前のお申込みをください。
定員になり募集を終了することがあります。定員 30名

お申込み、お問合せ：一般財団法人 真生会館
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 33 番地 4
Tel (03) 3351-7121 Fax (03)3358-9700
E-mail: gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp
URL: <http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp>